

令和3年度における大竹市の決算状況

1 収入及び支出の状況

令和3年度の一般会計並びに特別会計の決算における収入・支出は、第1表、第2表のとおりです。

一般会計における歳入総額は、182億3,680万1,141円（対前年度比13.2%減）、歳出総額は、169億1,715万9,559円（同比15.9%減）となり、歳入・歳出ともに前年度より減少しました。

形式収支は、13億1,964万1,582円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源9億2,199万4,412円を差し引いた残額、すなわち実質収支は、3億9,764万7,170円となりました。

（1）歳入の状況

財源の根幹となる市税は、固定資産税が約4,932万円、法人市民税が約512万円増加したこと等により、市税全体で約6,092万円（対前年度比1.2%）の増となりました。

また、地方交付税は約3億9,178万円（同比23.4%）の増、地方消費税交付金は約4,875万円（同比7.9%）の増となりました。

市債は、前年度と比べ大型事業に係る地方債の借入が減少したため、約18億8,261万円（同比53.8%）の減となりました。

（2）歳出の状況

第1期大竹市まちづくり基本計画では、「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」をまちづくりのテーマとして設定しています。未来にあふれる「8つの幸せ」の実現に向けた施策を展開し、以下の6つの分野別取組に係る事業を実施しました。

- （1）教育・文化
- （2）産業・雇用
- （3）生活・環境
- （4）安全・安心
- （5）健康・福祉
- （6）自治・行政運営

（1）教育・文化

まず、第1の施策「教育・文化」につきましては、子どもの学びと成長を支

える教育の充実を推進しました。

主な取り組みといたしましては、「大竹小学校プール建設事業」として、大竹小・中学校の児童・生徒が使用する新しいプール施設の設計を行いました。また、専門的な知識をもつ ICT 支援員や学習環境サポートのための学級支援員、読書活動推進員を配置するなど、教育環境の充実に努めました。

(2) 産業・雇用

第2の施策「産業・雇用」につきましては、地域産業の振興、中小企業の支援に取り組みました。

主な取り組みといたしましては、「産業振興奨励事業」として、新たに設備投資等を行った事業者に奨励金を交付し、市の産業の振興を図りました。

(3) 生活・環境

第3の施策「生活・環境」につきましては、暮らしやすい生活基盤の整備を進めました。

主な取り組みといたしましては、「阿多田フェリー新船建造事業」として、離島航路の利便性向上と安定的な運航を確保するため、新船の設計及び建造工事に着手しました。

また、「大竹駅周辺整備事業」として、前年度に引続き自由通路等の本体工事や支障となる物件の補償などのほか、駅前広場等の無電柱化に着手しました。

(4) 安全・安心

第4の施策「安全・安心」につきましては、防犯・交通安全の対策、救急・防災体制の充実に取り組みました。

主な取り組みといたしましては、「防犯対策事業」として、公共空間における市民の安全を確保するため、市内の4箇所を防犯カメラを設置しました。

また、「一般河川（水路）浚渫事業」として、豪雨による河川氾濫等の浸水被害を未然に防ぐため、土砂の堆積等により流下機能が低下した河川等の浚渫を行いました。

(5) 健康・福祉

第5の施策「健康・福祉」につきましては、心が触れ合う福祉の充実、生涯元気な心と体づくりに取り組みました。

主な取り組みといたしましては、「市立保育所等整備事業」として、子育てしやすいまちづくりの推進のため、本庁舎敷地内に認定こども園と子育て支援関連施設を整備しました。

(6) 自治・行政運営

第6の施策「自治・行政運営」につきましては、市民自治の促進、健全な行財政運営の推進に取り組みました。

主な取り組みといたしましては、「証明書コンビニ交付事業」として、市民サービスの向上のため、マイナンバーカードを使ってコンビニエンスストアで住民票の写しなどの証明書が取得できるよう、システム構築を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みとして、「住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業」、「子育て世帯への臨時特別給付金支給事業」、「クーポン券発行等事業」などの事業を実施しました。